

# 三宅町

昨年は今後10年間の町総合計画を策定、その中の基本計画は、柱の第1章を「子育て」とした。三宅町は1園1小学校で、こども園と小学校が連携しやすい

し、「効果のないものはやめる」とも。町職員の採用は一般職の採用を見合わせしており、「以前から人件費が高いといわれていた。町の規模が小さいので少しの

になり、年間約350万円の節約になるという。

選挙の公約でもあった「恋人の聖地」見直しは、引き続き登録料16万円を予算化し、指定を受けながら生かす方向に決まった。町内の10団体に出向いて行った「まちづくりトーク」で出た意見を参考にしたいという。

## 住民が集える場所を

環境にある。それを生かした子育て支援を模索する。

小学校のエアコンは夏までの設置完了を目指す。中学校は川西町との組合立だが、3月に臨時議会を開くなどして予算を確保したいと考えた。

## 新しい複合施設計画

節約が財政に好影響を与える」と森田浩司町長。

町役場の電話は、代表電

話をやめ、ダイヤルイン方式にした。交換業務が不要

た中央公民館の建て替えと

なった経緯があり、森田町

長も計画見直しを公言していた。

合わせた、児童館や人権センターの機能を併せ持った複合施設を建設することになった。

具体的には町役場駐車場

れた「住民が集まる場所が

## 森田 浩司町長



### 色紙の言葉「平」

今年で終わる平成という年号に込められた思いは「内外平和に」ということだった。新しい年号になるが、平和が続くようにするのは政治の仕事。それは年号が変わっても不変だ。

に新しい複合施設を建設

し、現公民館を取り壊す計画だ。公民館に隠れて正面から見えなかった文化ホールが姿を現すという狙いもある。来年度に設計し、平成32年度の完成を見込む。

まちづくりトークで出さ

る施設にしたい」と意気込

む。

ない」「子どもを遊ばせる場所が少ない」などの意見をとり入れたもので、森田町長は「公共施設にありがちな飲食禁止の規定を見直し、住民が集ったり、時には酒類を楽しんだりできる施設にしたい」と意気込

む。